

リアルタイム現地情報

JA 茨城旭村トマト部会 抑制作トマト圃場の巡回を行いました（銚田市）

JA 茨城旭村トマト部会を対象とし、令和7年9月4日（木）に大玉トマト、9月9日（火）にミニトマト栽培ハウス計15圃場について、種苗メーカーおよびJAの担当者とともに巡回指導を行いました。

出荷の最盛期を控え、夏期の高温や着果負担による樹勢低下の影響で、すすかび病等の発生が一部の圃場で見られましたが、生産者の適切な防除対策等により、感染拡大は抑えられていました。気温が徐々に低下するこれからの時期に問題となる病害虫があることから、普及センターより発生が懸念される病害虫の特徴や異なる薬剤のローテーション散布による初期防除の徹底を呼びかけました。

今作の抑制作トマトも、昨年同様に異常な高温に見舞われ、一部着果不良や裂果等の生理障害が見られましたが、出荷量は9月上旬から徐々に増加しており、例年通り11月まで出荷継続する見込みです。

普及センターでは、今後も定期的な巡回指導を実施し、高品質なトマトの安定出荷を支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長産業）